

2025 年度 傾斜的研究費（全学分）国際研究環支援 研究報告書

※本学 HP での公表を前提に記入してください。

【研究費区分】：国際研究環支援

【研究代表者所属】：人間健康科学研究科作業療法科学域

【研究代表者氏名】：井上 薫

【研究代表者氏名フリガナ】：イノウエカオル

【研究代表者職】：教授

【研究分担者（所属,氏名,職）】

- ・人間健康科学研究科作業療法科学域・須山夏加・客員准教授
- ・Chiang Mai University・Anuchart Kaunnil・Lecturer
- ・Bangladesh Health professional Institute,・SK Moniruzzaman・Head of Department of Occupational Therapy
- ・Angeles University Foundation,・Eunigem Saquin・Head of Department of Occupational Therapy
- ・The Indonesian Health Council・Cahya Buwana・Councillor

【HP（*本研究の HP を作成している場合は、その URL を記入してください。）】

- ・学科ホームページ等でシンポジウム報告およびプロシーディングスを公開予定

【活動概要と、ここで形成された研究グループ・研究拠点の今後の研究活動について】（800～1000 字程度で記入。図（組織図含）、グラフ等の使用も可。）

本研究では、日本、タイ王国(Chiang Mai University)、インドネシア共和国(The Indonesian Health Council)、フィリピン共和国(Angeles University Foundation)、バングラディシュ人民共和国(Bangladesh Health professional Institute)の 5 か国の作業療法学教育者の連携により、グローバルな視点をもつ作業療法士の育成を行う教育プログラムを開発し、参加学生を対象とした質問紙調査をもとにグローバル育成の効果を検証し、作業療法教育者に向けた”International Symposium Human Resource development contributing to the future in OT Education”を 2026 年 1 月 28 日開催した。

本調査では、本学と協定を結んでいる作業療法養成校の教員と連携し、2024 年度までに実施してきた国際交流プログラムのレビューを行い、対面・オンラインでの専門職領域の知識向上とグローバル資質の向上のためのプログラム開発を行い、2025 年度中に対面での国際交流(受入 5 名、派遣 4 名)、オンライン交流プログラム(6 か国 8 教育機関 34 名)を実施した。また”Examination of the Effectiveness of Program Development for Global Human Resource Education Through Five Countries Collaboration”のテーマで参加学生のグローバル人材育成に影響を検証した。本調査においてはグローバルな人材育成のニーズを反映した共同教育プログラムは、多様な文化的背景を持つ人々が関わる環境や状況への学生の適応力を高めることを示した。各国や文化の背景や価値観の違いに対する認識を深めつつ、それらに対応するために必要なグローバルな能力を養うこととなった。また、パートナー国の社会的背景を考慮しつつ、医療の専門知識を相互に共有するプログラムは、学生のグローバル・コンピテンシーを高め、多様な価値観や背景を持つ臨床現場への適応力を向上させ、専門職としての実践における国際的な連携能力を強化することができることが示された。

(※研究の全体の目的・意義に照らし、当該年度の研究で、どのように進捗・達成されたかも含め記載すること。)

【学会発表（発表題目，発表大会名，年月を記入）】

- ・ Natsuka Suyama: Research presentation and reports Examination of the Effectiveness of Program Development for Global Human Resource Education Through the International Collaboration in Occupational Therapy Education, Proceedings of the International Symposium: Human Resource Development Contributing to the Future of Occupational Therapy Education – How Occupational Therapy Education Can Contribute to Developing Human Resources to Meet the Growing Demands of Globalization, p11, Jan. 28th, 2026, Tokyo Metropolitan University
- ・ 2026 年度に最終成果を作業療法学あるいは医療者教育関連学会で公表

【論文発表又は著書発行（発表題目，著者，発表誌又は出版社，年月を記入）】

- ・ Proceedings of the International Symposium: Human Resource Development Contributing to the Future of Occupational Therapy Education – How Occupational Therapy Education Can Contribute to Developing Human Resources to Meet the Growing Demands of Globalization, Jan. 28th, 2026, Tokyo Metropolitan University

【学術会議開催実績報告】

- *International Symposium Human Resource development contributing to the future in OT Education (2026 年 1 月 28 日)
- (※国際学術会議にあたるものには「・」を「*」にすること。)

【海外研究者の招聘実績】

- ・ Bangladesh Health professional Institute より Mohuya Aktor 氏を、The Indonesian Health Council より Cahya Buwana 氏を本学へ招へいた。

【外部資金への応募状況】

- ・ なし

【科学研究費助成事業や国等の提案公募型研究費，企業からの受託研究費・共同研究費の獲得状況】

- ・ こちらの成果を踏まえ、発展させたテーマで 2026 年の科学研究費へ応募予定。

【受賞等】

- ・ なし

【その他社会貢献】

[公的審議会・委員会等の公的貢献，生涯学習支援・普及啓発，国際貢献・国際交流等]

- ・ 開催したシンポジウムを通じ、生涯学習支援、MOU 提携校との協力の下での作業療法教育における国際貢献を実施した。

【研究成果による特許等の産業財産権の出願・取得状況】

(産業財産権の種類, 名称, 出願番号, 出願年月日)

- ・ 該当せず

【研究分担額】

- ・ 100 万円

(研究代表者・分担者名, 所属, 金額 (円))

- ・ 研究代表者: 井上 薫, 東京都立大学大学院人間健康科学研究科作業療法科学域, 100 万 (一括管理)
- ・ 研究分担者: 須山夏加, 東京都立大学大学院人間健康科学研究科作業療法科学域
- ・ 海外研究者

Anuchart Kaunnil (タイ王国) Chiang Mai University, Lecturer

SK Moniruzzaman (バングラディシュ人民共和国) Bangladesh Health professional Institute, Head of
Department of Occupational Therapy

Eunigem Saquin (フィリピン共和国) Angeles University Foundation, Head of Department of
Occupational Therapy

Cahya Buwana (インドネシア共和国) The Indonesian Health Council